



子どもたちの主体性を大切に

校長 小川 泰文

監督が怒ってはいけない大会。元バレーボール日本代表の益子直美さんが、こうした小学生のバレーボール大会を各地で開いているそうです。

ある大会の一場面。監督が「手を伸ばして打ちなさい。」と声を張り上げると、益子さんは割って入り、「今怒ったよね。」と、子どもたちに確認。子どもたちがうなずくと、監督に×マークのマスクを手渡す。指導者が怒らないのが大会の唯一ともいえるルール。

こうした取組の背景には、益子さんが現役時代受けてきた指導に疑問があったからと思われます。益子さんは中学からバレーボールを始め、高校では全国準優勝、その後、全日本でも活躍。しかし、活躍の裏では高圧的な指導に悩む日々があったといいます。いつしか練習の目標は、難しいプレーにチャレンジすることではなく、怒られないようにミスをしないことになっていったと振り返っています。

そして、「指導者が過去の成功体験を捨て、新たに学び直すことが大事。目先の勝利だけでなく、子どもたちの長い将来を考えて指導してもらいたい」と語っています。

選抜高校野球では、初出場のエナジックスポーツが「ノーサイン野球」で話題となりました。ベンチから監督のサインはありません。自分たちで話し合ったりアイコンタクトをとったりして試合を進めます。選手の一人は「自分たちで考えて野球ができて楽しい。」、監督は「なぜ監督が指揮するのが野球なのか。考えを変えないとだめですよ。」と語っています。

各方面で、「指導者が言ったことを忠実に行わせる」ことから「子どもたち自身が考え、主体性をもって取り組む」ことに転換されているように思います。

学校では「従来型の授業からの脱却」がテーマです。従来型の授業とは、講義形式の一斉授業など、子どもたちが受け身の授業を意味しています。これからの時代、子どもたちが目的意識をもって、楽しみながら学び、創造性を発揮していく教育活動が大切です。そのためには、子どもたちの主体性を大切にし、子どもたちを主役にしていかなければなりません。（従来型の授業を否定するのではなく、時代とともに求められるものが変化していくと考えます。）

人は何かに一生懸命取り組んでいる時が美しい。先日行われた運動会の子どもたちがそれを教えてくれているようでした。その姿は決して受け身ではなく、主体性のあるやる気に満ちたものでした。北っ子を一層伸ばしたい想いは高まります。

季節はさわやかな薫風から梅雨へと変わっていきます。1学期の教育活動も振り返し地点。引き続き、子どもたちを支えていきましょう。

学校の教育目標「豊かな心で たくましく 伸びる子ども」を目指すための取組 ～ すべてのひと との かかわりを大切に ～

燕北小学校では、教育目標を達成するために、今年度は、以下の目標を立てて取り組みます。燕北小の子どもたちが、力強く、のびやかに成長していけますように、保護者の皆様、地域の皆様からご支援、ご協力をお願いいたします。

＜ 学びをきたえるプロジェクト【知育】＞

- (1) 国・算のワークテストで、80点以上の児童を85%以上にする。
- (2) 自分でたてた家庭学習の目標を達成できた児童を、80%以上にする。
- (3) 「4月よりも、素早く丁寧に書くことができた」「複数の根拠をもとに、考えを書くことができた」と評価する児童を80%以上にする。

知育面では、基礎学力を高めながら、燕市全体で取り組んでいる読解力の育成に重点をおいた授業改善に取り組んでいきます。日々の授業を大切にして、主体的に学びに向かう児童を育て、目標をもって家庭学習に取り組む児童の育成を目指します。

＜ 心をたがやすプロジェクト【徳育】＞

- (1) 学校が楽しいと感じる児童の割合を90%以上にする。
- (2) みんなの気持ちを考えた言葉遣いや行動のできる児童の割合を90%以上にする。
- (3) 廊下歩行など安心して過ごすためのきまりを守ることができる児童の割合を90%以上にする。

徳育面では、学校が楽しい、みんなと一緒に学校生活を送りたいという児童を育てていきます。誰もが安心して過ごせるように、相手の気持ちを考えて行動できる力、学校やクラスの約束事を大切にする思いを高めていきます。

＜ 健康をつくるプロジェクト【体育】＞

- (1) 運動が好きという児童、めあてをもって運動に取り組む児童をそれぞれ85%以上にする。
- (2) 長座体前屈の記録が、春の体力テストでは、半分以上の学年が全国平均を超え、秋の体力テストでは、春より記録が伸びる児童を60%以上にする。
- (3) 家族と決めた就寝時刻を守る児童（7日中5日以上）を75%以上にする。

体育面では、主体的に運動する児童の育成・体力（北小の課題である柔軟性）の向上・生活習慣の改善の3つを主な目標にして取り組みます。体育授業の改善とともに、眠育・メディアコントロールを中心に児童が自ら生活習慣のマネジメントができるような働き掛けを行っていきます。

全力で戦った、最高の運動会でした！

5月24日（土）、運動会が行われました。この日に向けて、子どもたちはたくさん努力をしてきました。応援練習では、校舎に響き渡るくらい声を毎日出していました。競技の練習では、チームの勝利のために、話し合ったり工夫をしたりしていました。

本番当日は、応援団を中心に優勝を目指して頑張る姿、運営を支えた係児童の活躍、競技での一人一人の輝きがありました。

保護者・地域の皆様の、温かい応援やご協力のおかげです。本当にありがとうございました。



燕北小コミュニティ・スクール始動！

令和6年度から燕市小中学校にて導入されたコミュニティ・スクール（以下CS）。今年度の第1回を、5月14日（水）に開催しました。委員の皆様から、今年度の学校運営やCSの活動についてさまざまなご意見をいただきました。今年も、子どもと大人が夢を語る「夢語り」や、講師の方に職業観や生き方について話を聞く「キャリア講話」の取組を継続していくことが決まりました。今後、活動について周知や報告を行っていきます。保護者や地域の皆様から協力・参加をお願いいたします。

